

京都府立少年自然の家の今後のあり方について

平成24年3月12日
社会教育課

《社会教育委員会議でのまとめの概要》

1. 今後の施設のあり方

府立少年自然の家については、集団宿泊体験活動の機会を提供する中で、青少年の健全育成に重要な役割を果たすことだけにとどまらず、今後は、名称も含めて検討し、多くの府民が利用できる体験・交流の中核施設として活用されることを期待する。

なお、近隣施設の状況や施設維持に係る財政負担、施設の規模、経過年数、地理的条件等を考慮し、「南山城少年自然の家」を廃止し「るり溪少年自然の家」に機能を集約することはやむを得ないと考える。

2. 機能充実等に向けての要望事項

ア 事業内容の充実

- ・自然の中の立地条件を活かして取り組まれている事業の一層の充実
- ・防災教育や環境教育等の現代的課題に対応するなど時代のニーズに合わせた新たな事業の開発・実施
- ・幅広い年代層や多様な集団が体験・交流できる機会の充実
- ・体験活動等の指導者養成に向けての研修会の充実

イ 施設・設備の充実

- ・多様な体験活動プログラムが実施できるよう、屋内多目的ホールや学習室の新設
- ・バリアフリー化やITへの対応等、利用者の視点に立った改修

ウ 専門職員・スタッフ体制の強化

- ・専門職員を増員配置するなど施設機能の充実や強化を可能とする体制整備

エ 広報・啓発活動等の充実

- ・利用者増加に向けての広報・啓発活動のより一層の充実
- ・同種施設とのネットワーク構築による情報提供

オ その他

- ・「南山城少年自然の家」を廃止する場合は、活用してきた利用者やボランティア等へのきめ細かな情報提供と丁寧な対応

《府民説明会の概要》

1 南山城少年自然の家会場

日 時：平成24年2月19日（日）午後1時～3時30分

場 所：南山城少年自然の家

参加者：38名（小中学校関係25名 行政1名 中体連2名
スポーツ少年団8名 NPO 1名 元職員1名）

2 るり溪少年自然の家会場

日 時：平成24年2月26日（日）午後2時30分～3時20分

場 所：るり溪少年自然の家

参加者：7名（幼稚園関係者1名 ボーイスカウト3名
吹奏楽関係1名 少年補導委員会2名）

3 主な意見

- ・ 南山城少年自然の家が廃止になる場合でも、利用者によっては次の代替施設の検討もあり、一定期間の猶予がほしい。
- ・ 代替施設の情報提供をお願いしたい。
- ・ 少年自然の家がるり溪の1か所になった場合、予約が取りにくくなると考えられるので、配慮してほしい。

＜社会教育委員会議での検討経過＞

1 第1回京都府社会教育委員会議

日時：平成23年7月19日（火） 午前10時～正午

【協議テーマ】

- ・ 子どもの体験活動の重要性・必要性について
- ・ 体験活動の充実を図るための府立少年自然の家の役割について

2 第2回京都府社会教育委員会議

日時：平成23年8月29日（月） 午後2時～4時

【協議テーマ】

- ・ 今後の府立少年自然の家の方向性について
- ・ 府立少年自然の家に求められる機能の充実について

3 第3回京都府社会教育委員会議（るり溪少年自然の家）

日時：平成23年10月25日（火） 午前9時30分～11時30分

【協議テーマ】

- ・ 今後、府立少年自然の家が取り組むべき事業・課題等について
- ・ 施設・設備の充実、機能の向上等について

4 第4回京都府社会教育委員会議

日時：平成24年1月13日（金） 午前9時30分～正午

【協議テーマ】

- ・ 府立少年自然の家のあり方についてのまとめの検討